

林業安全コラム

毎日の5Sでつなぐ 安全職場 ヨシ!
(2016年度 安全衛生スローガン<月間重点活動>)

○ 林業労働災害発生状況

平成27年の林業における労働災害死傷者数（死亡災害及び休業4日以上）の1月末現在の速報が厚生労働省ホームページ（<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/sokuhou27.html>）に掲載されましたので、年齢別等の傾向を見てみました。死傷者数全体では、平成26年を上回っています。

年齢別（平成26年及び平成27年12月末累計）

年齢		～	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	計
年		19歳	～	～	～	～	～	
死傷者数 (人)	平成27年	24	166	294	<u>304</u>	<u>317</u>	<u>489</u>	1,594
	平成26年	16	146	290	<u>271</u>	<u>326</u>	<u>534</u>	1,583

※ 厚生労働省「労働者死傷病報告」による死傷災害発生状況の各年12月末速報とは数値が変動
年齢別では、概ね高齢であるほど被災者数が多く、平成27年の49歳以下の林業労働災害被災者数は、平成26年を上回っています。

月別（平成26年及び平成27年12月末累計）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
死傷者数 (人)	平成27年	126	123	<u>148</u>	125	145	119	129	123	127	<u>159</u>	<u>154</u>	116	1,594
	平成26年	<u>156</u>	113	115	148	109	139	<u>152</u>	106	147	<u>151</u>	127	120	1,583

※ 厚生労働省「労働者死傷病報告」による死傷災害発生状況の各年12月末速報とは数値が変動
月別では、年度初め、猛暑の次期、木材生産事業の最盛期、冬山作業などの時期に災害が多く発生しており、平成27年は10月が最も多く、平成26年は1月に最も多く発生しています。

事故別（平成26年及び平成27年12月末累計）

事故型	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	火災	交通事故（道路）	動作の反動・無理な動作	その他（含分類不能）	計略
	年															
死傷者数 (人)	平成27年	171	192	28	<u>254</u>	72	<u>332</u>	71	<u>362</u>	5	13	4	1	14	56	19
	平成26年	154	169	34	<u>251</u>	55	<u>353</u>	74	<u>390</u>	1	12	1	0	9	56	24

※ 厚生労働省「労働者死傷病報告」による死傷災害発生状況の各年12月末速報とは数値が変動
事故別では、いずれの年も「切れ・こすれ」、「激突され」、「飛来・落下」の順で多く、チェーンソーによる伐木作業中の被災とされます。

災害を未然に防ぐため、必ず防護具を着用の上、また、冬期間は身体を十分温めて、動作が緩慢にならないよう、かつ無理をせず作業を行うようにして下さい。

<お知らせ>

林業退職金共済事業は、平成27年度の加入者目標数2,100人を達成しました。今後も引き続き、林業就業者の福祉の増進のため、加入促進のご協力をお願いします。

林業労働対策室
労働安全衛生班